



こおりやま街の学校

日々の暮らしを豊かにできる実行力を育む学びと実践の場
「こおりやま街の学校 2022」の閉校式を開催します



ターゲット 17.17

令和4年12月7日
郡山市文化スポーツ部
国際政策課
課長 石井 章浩
TEL：924-3711

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

12月10日(土)に「こおりやま街の学校 2022」の閉校式を開催します。

閉校式では、セミナーやワークショップにおける学び、この学校で生まれた新しい繋がりから始動したプロジェクト等を6名の受講生が発表します。

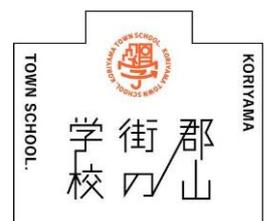


- 1 日 時 12月10日(土) 午前10時00分から正午まで
- 2 会 場 郡山市役所本庁舎 2階 正庁
- 3 参加対象者 こおりやま街の学校 2022 受講生 62名
- 4 出席者 (1) 郡山市長 品川 万里
(2) 【こおりやま街の学校 学校長】
株式会社ソトコト・プラネット代表取締役
未来をつくるSDGsマガジン「ソトコト」編集長 指出 一正 氏
(3) 【こおりやま街の学校 チームプロジェクト伴奏支援者】
株式会社はじまり商店街協同代表取締役
コミュニティビルダー 柴田 大輔 氏
- 5 発表者 (1) 学生団体 Chi 縁 代表 永見 政悟 氏
(2) 株式会社 EDU-Mo 代表取締役社長 金田 萌 氏
(3) 郡山市立小山田小学校 教諭 大塚 久 氏
(4) 有限会社ノーザンライツ 代表取締役社長 高木 義人 氏
(5) 株式会社 tentoTen 代表取締役 和田 辰也 氏
(6) トラスホーム株式会社 代表取締役 古川 広毅 氏
※発表の概要は別紙のとおりです。

- 6 式 次 第
- (1) ラジオ体操・事務局挨拶
 - (2) 郡山市長挨拶
 - (3) 「こおりやま街の学校」についての説明
 - (4) 受講生による発表
 - (5) スライドショーの上映
 - (6) 学校長挨拶
 - (7) 記念撮影
 - (8) 修了印の押印（押印後、順次解散）

こおりやま街の学校について

一人ひとりが暮らしをより主体的に楽しみ、地域と関わりながら活動の一步を踏み出すことを目指す「こおりやま街の学校（まちがく）」は、郡山の街なかをキャンパスとして、地域づくりなどの考え方やノウハウを座学と実践によって身につけることができる学校です。
今年度は3期目となり、全5回のセミナーとワークショップ（チームプロジェクト）を開催しました。



こおりやま街の学校公式 WEB サイト：<https://machigaku.jp/>



受講生の輪もどんどん広がっています。



チームプロジェクト発表・表現の場「まちがくまつり」について

こおりやま街の学校（通称：まちがく）の受講生と、参加者の皆さんでつくりあげる、学校の文化祭のような、まちがくオリジナルのイベントとして、11月6日（日）に開成山公園野外音楽堂等で開催しました。

テーマは、暮らしの中の「わくわく」をおすそわけ。

“まちがく”の受講生が、暮らしの中で見つけたり感じたりしている「わくわく」を食・アート・音楽の3つのテーマに分かれて発表・表現しました。



まちがくまつり公式 WEB ページ：<https://machigaku.jp/matsuri/>



こおりやま街の学校 2022 閉校式 受講生発表概要

(敬称略)

No.	肩書 氏名	発表概要
1	学生団体 Chi 縁 代表 永見 政悟	宮城県から進学を機に移住。 学業の傍ら、 <u>学生団体を立ち上げ、空き家のリノベーションやストリートファニチャーなどの事業を展開。建築の分野を通して地域と人を繋げている。</u>
2	株式会社 EDU-Mo 代表取締役社長 金田 萌	語学教師のキャリアを経て、語学教育を通じた多文化共生社会の実現を目指すため起業。 <u>小学生が外国人留学生に日本語を教える体験イベントなどを開催予定。</u>
3	郡山市立小山田小学校 教諭 大塚 久	アニメーター、小学校教諭の経験を生かし、任意団体を立ち上げる。 <u>ダバイザー体操とアニメーション</u> を駆使して、 <u>震災の風化防止と子どもたちに夢と元気を与える活動</u> を展開。
4	有限会社ノーザンライツ 代表取締役社長 高木 義人	<u>札幌市でトレイルランナー等が楽しめる場づくりとして森を整備した経験</u> を、“まちがく”の卒業生が実施している <u>三春町における里山再生のプロジェクト</u> に生かし活動。
5	株式会社 tentoTen 代表取締役 和田 辰也	20年近く音楽業界に携わってきた経験を生かし、音楽イベント等を主催。 <u>郡山市を“クリエイターが育つまち”へ変えるため起業。空きビルをリノベーションし、クリエイターが集える場づくり</u> を行っている。
6	トラスホーム株式会社 代表取締役 古川 広毅	建築に関わるキャリアを歩み不動産賃貸管理等を行う会社を立ち上げ、 <u>旧小原田村エリアを主戦場に、里守として地域価値を高める活動</u> を展開。

※発表順序が変更になる場合がありますので予めご了承ください。